



日本とマレーシアを比較

産学連携体制の国際比較シンポジウムを開催

追手門学院大学(大阪府茨木市、学長：川原俊明)のオーストラリア・アジア研究所は、「ASEAN諸国における産学連携体制の国際比較と提案」と題した国際シンポジウムを12月19日に本学で開催します。

シンポジウムでは、「ASEAN諸国の大学とのコラボレーションのための産業ニーズ」、「日本とASEAN諸国との産官学連携」、「政府系研究機関が取り組む産学連携の研究レビュー」の3つのテーマについてマレーシアの大学の研究者が講演し、総合討議を行います。

大学と協働することに対する日本とマレーシアの企業の意識・期待するものの違い、それにもなう効果の違いや社会貢献度の違いまで、多視点から両国の違いを明らかにします。

本学は、マレーシアの国際マラヤ・ウェールズ大学と学術・教育交流協定を結んでおり、このたびのシンポジウム開催となりました。

産学連携体制の国際比較という珍しい研究テーマでのシンポジウムです。ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

【ポイント】

- マレーシアと日本における産学連携体制の比較に関する研究発表会
- マレーシアの国際マラヤ・ウェールズ大学の教員および社会人大学院生が研究発表
- 追手門学院大学は2013年に国際マラヤ・ウェールズ大学と学術・教育交流協定を締結。両大学間の教員・学生の交流や共同研究プロジェクト実施のため、交流と協力を行っている。

【開催概要】

開催日：2017年12月19日(火) 15時～17時

会場：追手門学院大学1号館3階 会議室5

プログラム：15：10～『ASEAN諸国の大学とのコラボレーションのための産業ニーズ』
15：40～『日本とASEAN諸国との産官学連携』
16：10～『政府系研究機関が取り組む産学連携の研究レビュー』
16：40～質疑応答および総合討議
(通訳あり)

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL：072-641-9590 谷ノ内・足立